

ギニア月報(2023年5月)

主な出来事

【内政】

- 12日、FVG はデモに対する治安当局の弾圧により死者7名、負傷者48名、逮捕者77名が発生したと発表。
- 14日、暫定国民委員会は新憲法起草にかかる10のステップを発表。
- 15日、ギニア暫定政権は FVG によるデモに対し軍を動員。
- 18日、ギニア報道協会はインターネットアクセス制限等について暫定政権へ抗議。

【外政】

- 3日、暫定政権外相はトーゴで開催されたアフリカ政治同盟第1回閣僚会議へ参加。
- 9日、暫定政権外相はモロッコを訪問し、両国の協力関係の強化について議論。

【経済(経済協力含む)】

- 6日、暫定政権はギニアのボーキサイト輸出量が予想を上回ったと発表。
- 15日、暫定政権は水分野でドナーや民間企業等から約 24 億米ドルの支援を取付けたと発表。
- 17日、世界銀行は 1000 教室の建設のため計 5,000 万米ドルの提供を約束。

1 内政

- ・ 12日、市民・政党勢力である FVG は、10日及び11日のデモに対する治安当局の弾圧により、死者 7 名、負傷者 48 名、77 名の逮捕者が発生したと発表。
- ・ 14日、暫定国民委員会(CNT)は、民政新憲法起草にかかる 10 のステップを発表。
- ・ 15日、暫定政権は FVG によるデモに対し、警察及び憲兵隊の治安維持を支援するとして軍を動員。
- ・ 18日、ギニア報道協会は、数日前よりインターネットのアクセスがブロックされる状況が続いていることや、憲兵がラジオ局に押入り放送機器を押収したことについて抗議声明を発表。暫定政権は関与を否定。

2 外交

- ・ 3日、クヤテ外務・アフリカ統合・在外自国民大臣は、トーゴにおいて開催されたアフリカ政治同盟第1回閣僚会議に参加。参加国の交流、政治対話、共同行動のための枠組みについて議論された。

- ・ 9日、クヤテ外務・アフリカ統合・在外自国民大臣はモロッコにおいてブリタ外務・アフリカ協力・在外モロッコ人大臣と会談、農業、経済、軍事面での協力関係の強化、および両国の領土保全について支持を確認した。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 6日、ギニア暫定政府はアルミニウム製造に使用される鉱石であるボーキサイトの輸出量が、4月末時点で合計 11,687,176トンとなり、政府予測の 9%上回ったと発表。
- ・ 15日、3日間にわたり開催された「水・衛生フォーラム」で、ギニア暫定政府はドナーや民間企業等から計 24 億米ドルの支援を取り付けたと発表。本資金を活用した上水道整備等により、コナクリ及び内陸部の飲料水不足の解消が期待される。
- ・ 17日、ギニア暫定政府は世界銀行が 1000 教室の建設のため計 5,000 万米ドルの提供を約束したと発表。